



ゴヤ・フリオ (Goya, Julio)
(1953年生まれ)

作品名: 「太陽と月のロマンス (Romance de sol y luna)」

- 制作年: 2007年 ●素材: 鉄、ステンレス
- 寸法: 450.0×900.0×750.0 cm

ゴヤはアルゼンチン生まれの沖縄系2世で、1980年代から沖縄で活動を続けています。美術館の屋外展示場に設置された本作品は、開館中は誰でも自由に鑑賞することができます。巨大な作品を見上げると、なめらかでリズムカルな曲線と目が覚めるような鮮やかで明るい色彩に誘われて、視線が空高くどこまでも伸びていきます。そこにはアルゼンチンだけでも沖縄だけでもない、両方が調和された姿も見ることができるのではないでしょうか。

県立博物館・美術館



<http://www.museums.pref.okinawa.jp/>

美術拡がりの時代

現代美術では、絵画・彫刻といった既存の表現様式に留まらない作品が生まれてきています。また沖縄に限定されるのではなく、海外へ積極的に出て行ったり、逆に海外から沖縄に来て表現活動を展開するアーティストが出てくる等、活動範囲も多様化しています。



てるや ゆうけん
照屋 勇賢
(1973年生まれ)

作品名: 「結い You-I」

- 制作年: 2002年 ●素材: 麻に顔料
- 寸法: 169.0×148.0 cm

照屋は沖縄で生まれ、現在ニューヨークを拠点に国内外で活躍しています。本作品は一見何の変哲もない紅型着物に見えます。よくよく見ていくと落下傘で降りる兵士、戦闘機、ジュゴンと伝統的な花や鳥の図柄の中に様々なものが見えてきます。そこには沖縄の伝統的な手仕事の美しさが示され、同時に沖縄の抱える問題を浮き上がらせています。身にまとう衣装という形を取ること、より深く私たちの身に迫ってくるように感じられます。

美ら島
まるごと
ミュージアム

第11回

移動し出会うの先にあるもの

自分の生まれ育った土地を離れ、別の場所へ行くことによって、全く異なる文化や価値観に出会うことがあります。それは同時に自分とは何者であるのか、自分の持つ感性が何であるのかを写し出す鏡でもあります。それはアーティストにとっても表現活動をしていく上で重要なものであり、作品の中にその葛藤や文化の多様性が反映されています。